進路指導部より　～小論文対策に取り組もう～

休校期間は，受験生にとって今後を左右する大切な時間です。こんな時間だからこそできる準備をしっかり行って，来るべき受験に備えましょう。また，３年生だけでなく１・２年生にもこの時間を利用しての読書を薦めます。

今年度の入試から入試の区分が変わります。

① 総合型選抜（旧ＡＯ入試）
② 学校推薦型選抜（推薦入試）
③ 一般型選抜（一般入試）

その中で，大学は一般型選抜の定員を減らし，総合型選抜と学校推薦型選抜の定員を増やす傾向にあります。学科試験だけでは測れない受験生の能力を，面接・小論文・レポートといった面から総合的に評価しようとしています。特に，小論文は，思考力・表現力・問題解決能力といった，大学で専門分野を学ぶための基本的なスキルが備わっているかを測るのに適しており，今後も採用する大学が増えてくるでしょう。

小論文を書くことは，一朝一夕にできるものではありません。文章力があっても，書くための引き出しが乏しいと内容のない薄っぺらなものになってしまします。この時間を利用して，書くための情報を集め，その情報に対して自分はどう考えるかを文字にしてみましょう。教科の勉強の合間に，自分が大学で「学問」をしたい分野とその社会的役割について再度考えてみましょう。

その手がかりとなる書籍を系統別に紹介します。新書が多いので定価は 800 円前後です。（＊）印は高校生が特に読んでおきたい書籍なので，書籍案内も添えておきます。

＊「学研」主催「小論文研究会」資料から許可をえて一部抜粋・編集

系統	書名	著者名	出版社
人文	たったひとつの「真実」なんてない	森　達也	ちくまプリマー新書
	AI が人間を殺す日	小林　雅一	集英社新書
	「個性」を煽られる子どもたち	土井　隆義	岩波ブックレット
	ことばと文化（＊） 文化が違えばことばも異なり，その用法にも微妙な差がある。人称代名詞や親族名称の用例を外国語の場合と比較することにより，日本語と日本文化のユニークさを浮き彫りにします。ことばが文化と社会の構造によって規制されることを立証した，言語論の入門書。	鈴木　孝夫	岩波新書
	友だち幻想　人と人との〈つながり〉を考える（＊） 友だちは何よりも大切。でもなぜこんなに友だちとの関係で傷つき悩むのだろう。人と人との距離感覚をみがいて，上手につながりを築けるようになるための本。	菅野　仁	ちくまプリマー新書
教育	「学び」から逃走する子どもたち	佐藤　学	岩波書店
	教育改革のゆくえ―国から地方へ	小川　正人	筑摩書房
	イギリスの大学・ニッポンの大学	苅谷　剛彦	中公新書ラクレ
	あなたのキャリアのつくり方	浦坂　純子	ちくまプリマー新書
	学びとはなにか〈探究人〉になるために（＊）	今井　むつみ	岩波新書

	「学び」とはあくなき探究のプロセスだ。単なる知識の習得や積み重ねでなく，すでにある知識からまったく新しい知識を生み出す。その発見と創造こそ本質なのだ。認知科学の視点から生きた知識の学び方について考える一冊。		
	わかりあえないこと―コミュニケーション能力とは何か（＊） 近頃の若者に「コミュニケーション能力がない」というのは本当なのか。「子どもたちの気持ちがわからない」というのは，何が問題なのか。いま，本当に必要なことは何かを問いかける。	平田　オリザ	講談社現代新書
経済 社会	復興〈災害〉	塩崎　賢明	岩波新書
	子育て支援と経済成長	柴田　悠	朝日新書
	スラム化する日本経済	浜　矩子	講談社
	経済成長という病　退化に生きる，我ら	平川　克己	講談社
	ブラック企業	今野　晴貴	文藝春秋
	〈地域人〉とまちづくり	中沢　孝夫	講談社
	若者が無縁化する	宮本　みち子	ちくま新書
	希望のつくり方	玄田　有史	岩波書店
	監視カメラ社会	江下　雅之	講談社
	人口と日本経済（＊） 人口減少が進む日本は衰退する運命なのか。人口と寿命を経済学の視点から捉えなおし，財政危機からＡＩまでの日本経済の未来を考える。	吉田　洋	中公新書
	限界集落の真実（＊） 高齢化が進み，いずれ消滅に至るとされる「限界集落」。危機を煽る報道がなされる一方で，実際に消滅したむらはほとんどない。世代間継承や家族の問題を見据え，真に持続可能な日本の地域社会を考える。	山下　祐介	ちくま新書
	弱者の居場所がない社会（＊） 貧困と格差社会についての新しい必読書。社会的排除とは「社会から追い出されること」。社会包摂は「社会に包み込むこと」。この新しい視点なしに今後の社会保障は語れない。気鋭の研究者の問題提起。	阿部　彩	講談社現代新書
法学	デモクラシーの論じ方	杉田　敦	筑摩書房
	ポピュリズム	薬師院　仁志	新潮新書
	憲法と平和を問いなおす（＊） 日本国憲法第９条を改正すべきか否か。私たち一人ひとりが決断を迫られる時代が近づきつつある。憲法と平和の関係を根底から捉えなおし，情緒論に陥りがちなこの難問を冷静に考え抜くための手がかりを示す一冊。	長谷部　恭男	ちくま新書
福祉	介護保険　地域格差を考える	中井　清美	岩波書店
	老いる家崩れる街	野澤　千絵	講談社現代新書
	未来の年表　人口減少日本でこれから起きること	河合　雅司	講談社現代新書
国際	グローバリズム以後	エマニュエル・トッド	朝日新書
	日本はどう報じられているか	石沢　靖冶	新潮社

国際	ＯＤＡ（政府開発援助）　日本に何ができるか	渡辺利夫　他	中央公論新社
	イスラームから世界を見る	内藤　正典	ちくまプリマー新書
	多文化世界（＊） イデオロギー対立，少数者への抑圧・攻撃など，過酷な経験を重ねてきた世界は，宗教・民族問題の先鋭化と同時に，グローバル化に伴う画一化に直面している。真の相互理解は可能なのか。その鍵となる「文化の多様性の擁護」と「文化の力」をめぐる現状と課題を説く。	青木　保	岩波新書
医療	医療の限界	小松　秀樹	新潮新書
	命の格差は止められるか	イチロー・カワチ	小学館 101 新書
	話を聞かない医師　思いが言えない患者	磯部　光章	集英社新書
	医療大転換（＊） 無駄な投薬や検査がない。患者のたらい回しもない。２４時間体制でいつでも相談できる。日本に渦巻く医療への不信と不満・不安を一掃するプライマリーケアとは何か。患者中心の医療への大転換を提言する。	葛西　龍樹	ちくま新書
	がんばらないけどあきらめない（＊） 結婚したばかりで卵巣がんになった女性。状態が悪化したとき，山登りが好きな妻のために，夫が用意した希望。脳出血で右完全麻痺となった教師が，療養休暇２年で退職を迫られた時の発想の転換。絶望の中でも自分を大切にして信じる心。幸せを呼ぶエッセイ集。	鎌田　實	集英社文庫
理系	生命と記憶のパラドクス	福岡　伸一	文春文庫
	エネルギー進化論	飯田　哲也	ちくま新書
	物理学者，ゴミと闘う	広瀬　立成	講談社
	ゾウの時間ネズミの時間　サイズの生物学	本田　達雄	中公新書
	科学は，どこまで進化しているか（＊） 科学と技術は現在どこまで進化し，解明できているのか。最新の情報と知見をもとにしたわかりやすい解説書。６分野４８項目にわたる科学入門書。	池内　了	祥伝社新書
	科学の危機（＊） 職業人としての科学者が誕生した１９世紀前半以降の科学史をひもときながら，科学がいかに変質し，研究者の規範がどう変化したかを解明する。	金森　修	集英社新書
学際	文明の災禍	内山　節	新潮社
	下流志向　学ばない子どもたち　働かない若者たち	内田　樹	講談社
	ぼくらの民主主義なんだぜ	髙橋　源一郎	朝日新書
	「おもてなし」という残酷社会	榎本　博明	平凡社新書
	リサイクル幻想	武田　邦彦	文藝春秋
	災害とソーシャルメディア	小林　啓倫	マイコミ新書

以上の書籍の他に薦めるのが，「岩波ブックレット」シリーズです。タイムリーな話題について毎月数冊発行される小冊子です。昨年の６月，1,000 号に達した際に編集部が掲載したメッセージを一部紹介します。

「岩波ブックレットは一貫して政治・経済・社会・文化の様々な領域におけるその時々の『課題』に即応する書目を刊行してきました。・・・一方，近年のインターネットの進展によって，私たちは『活字』を読まなくても，スマホや PC を通じて膨大な情報に容易にアクセスできるようになりました．しかし，その中に混在する多くの『フェイク』に惑わされることなく『ファクト』にたどり着くのは至難の業です．様々な領域の第一人者が問題の本質をコンパクトにわかりやすくまとめた岩波ブックレットは，ネットの情報に振り回されずに自分自身で考えるための最強のツールです。ネット時代の今こそ，岩波ブックレットを活用していただければと思います。」

いくつかここに紹介します。

「学校を改革する」　佐藤　学
「日本の保育はどうなる」　普光院　亜紀
「命に国境はない」　高遠　菜穂子
「過労死のない社会を」　森岡　孝二
「パレスチナ　戦火の中の子どもたち」　古居　みずえ
「ハンドブック　集団的自衛権」　浦田　一郎　他
「アートで平和をつくる
　沖縄・佐喜眞美術館の軌跡」　佐喜眞　道夫
「メディアをつくる」　白石　草
「プラスティック汚染とは何か」　枝廣　淳子
「今こそ，エネルギーシフト」　飯田　哲也　他

また，書籍以外にも，新聞記事をテーマごとに集めたり，テレビやインターネット等のニュースで情報収集を行ってください。

【小論文対策参考書】

「小論文　書き方と考え方」　大堀　精一　　講談社
「大学入試対策　初歩の初歩
　太田貴之のゼロから始める小論文」　　KADOKAWA
「吉岡のなるほど小論文講義１０」　吉岡　有治　桐原書店
「落とされない小論文」　今道　琢也　ダイヤモンド社
「必ず受かる小論文，作文の書き方」　石井　秀明　新星出版社
「河合塾シリーズ　小論文入試」（＊人文・社会・理系の３系統あり）
「駿台受験シリーズ　小論文テーマ別課題文集　21 世紀を生きる」

この他にも多数あります。自分のレベルや必要度に合わせて参考にしてください。